

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクションII (WSII) 対面開催 一覧表

日時：6月16日(日) 10:00-12:00

No.	テーマ	氏名 (ふりがな)	プロフィール(抜粋)	ワークショップの流れ：箇条書き	ワークショップの概要(キーワード)	役に立つ場面(こんな方にお勧め)
2-A	東日本大震災の経験から ～3.11浪江町役場のケー スメソッド～	伴場 賢一 (ばんば けんいち)	アフリカ・東南アジアの貧困削減事業にNPO職員 や国連機関・JICA等のコンサルタントとして勤 務。東日本大震災後帰国を機に地元福島に戻り Bridge for Fukushimaを設立。復興事業や高校生向 けリーダーシップ育成事業メンバー、復興庁の政 策調査官、自治体の総合計画の審議員や政策アド バイザー、慶應義塾大学 ケースメソッド・インス トラクターなど。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイスブレイク</li> <li>●ケースリーディング</li> <li>●意思決定</li> <li>●グループ内での共有</li> <li>●全体での共有</li> <li>●ケースメソッド×災害復興のまとめ</li> </ul>	東日本大震災、地震・津波、原発周辺20km圏内 の自治体、避難命令、避難、避難生活、現場の 自治体職員、避難の支援をした団体職員等、浪 江町職員の行動記録、意思決定、追体験、優先 順位、バイアス、意思決定過程、正しい意思決 定について	●想定を超えた震災の発災直後から避難 時の追体験 ●意思決定プロセスとバイ アス ●震災などのKnowledge Transfer (経験共有)のワークショップのデザ イン
2-B	性的マイノリティとDE&I ～トランスジェンダーの 診療と社会課題解決の取 り組みから～	種部 恭子 (たねべ きょうこ)	産婦人科医/富山県議会議員。医療で解決できな い社会課題に向き合うため2019年統一地方選に出 馬。現在、富山県議会議員2期目。診療に従事しな がら医療・福祉政策および女性や子どもの課題に 県政で取り組んでいる。	トランスジェンダーとその医療および社会課題への 取り組み(トーク) 性的マイノリティとDiversity, Equity & Inclusion (課 題解決に向けてワーク)	トランスジェンダー、医療、福祉、教育、政 治、性的マイノリティ、Diversity, Equity & Inclusion、社会課題解決	性的マイノリティ(LGBTQ)を学校や 企業等組織で受け入れる取り組みを考 えている方
2-C	ビジネスゲームを通じた ファシリテーションとウェ ルビーイングの探求	福井 信英 (ふくい のぶひで)	株式会社プロジェクトデザイン代表		株式会社プロジェクトデザイン、2010年に富山で創 業、200を超えるビジネスゲーム、組織と個人の変 革を支援、体験と振り返り、社会や組織の問題、 ウェルビーイングが高まるプロセス、ファシリテー ション	
2-D	死生観とウェルビーイン グー喪失をテーマにした ゲーム『運命のダイス』 の体験ー	坂井 裕紀 (さかい ひろのり)	1974年富山県出身 東京大学大学院情報学環 特任研究員 早稲田大学大学院人間科学研究科修了 専門は教育工学、臨床死生学、ゲーミファイケー ション。 心の健康の保持増進に関するワークショップや研 修を1000回以上行っている。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.イントロダクション</li> <li>2.アイスブレイク/チェックイン</li> <li>3.レクチャー：死生観とWell-being</li> <li>4.ワーク①：私の大切な物事カードの作成</li> <li>5.ワーク②：私の大切な物事カードの紹介</li> <li>6.ワーク③：ゲーム『運命のダイス』の体験</li> <li>7.リフレクション：体験の省察</li> <li>8.シェアリング：印象や学びの共有</li> </ol>	ゲーム、「Gamification」、Vuurro et al. (2022) )、Well-being、Tal Ben-Shahar (2021)、「 SPIRE」、3つのワークの体験	・ゲームを用いたワークショップに興 味のある方・SPIRE(特にEmotional (情動性))に関心のある方・人生の 大切な出来事を考えたい方・喪失体験 からの成長に興味のある方・死生観と Well-beingに関心のある方
2-E	問いの力でSDGsの課題解 決を考えよう	吉田 聖美 (よしだ きよみ)	団体名「ファシリテーションをはじめよう」メン バー(他、佐竹正人、増平貴之) 2017年からファシリテーションを広めることを目 的に活動開始70回以上のワークショップを企画 し、400名以上が参加。FAJ内外で活動。	複数の問いを段階的に投げ、個人で考える、グルー プでシェアする、という流れを繰り返します。	ファシリテーションのスキル、「問い・質 問」、河田真誠、「問活ノート」、2024年2月 の東京支部イベント、対話、SDGsの17の開発 目標	
2-F	ウェルビーイング・ダイ アログ・カードで、対話 をしよう!	大嶋 友秀 (おおしま ともひで)	FAJ東京支部。 ウェルビーイング学会、ウェルビーイングとコ ミュニケーション研究部会メンバー、国際ファシ リテーターズ協会メンバー、IFVP(International Forum of Visual Practitioners)メンバー、ワールド・ カフェ・コミュニティ・ファウンデーション(国 際理事)、生成的会話の場コミュニティ(GCBC) 理事長。 COF:久保田和宏(FAJ東北支部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルビーイング・ダイアログ・カードの説明</li> <li>・ウェルビーイング・ダイアログ・カードを使った 対話の実践(グループワーク)</li> <li>・気づき(グループ全体)</li> <li>・ウェルビーイング・ダイアログ・カードの応用事 例の紹介</li> <li>・Q&amp;A(及びふりかえり)</li> </ul>	ウェルビーイング(幸福学)、組織活動、ウェ ルビーイング・ダイアログ・カード、慶應義塾 大学の前野隆司先生と前野マドカ先生、ラン プに準えた52枚のカード、幸せの4つの因子、 カードの質問、ダイアログをすること、カード を使ったダイアログセッション造形ワーク ショップ事例の紹介	
2-G	社会的処方×ファシリテー ション	上井 靖 (うわい やすし)	A-sessions 代表、愛知みずほ大学特任教授、NPO アスクネット理事 名古屋市のキャリア教育・学習支援・フリース クールに関わっている。 コミュニティーコーピング認定ファシリテーター 元名古屋公立中学校長、FAJフェロー	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ミニレクチャー「社会的処方とは？」</li> <li>②社会的孤立を解消する協力型のゲーム「コミュニ ティーコーピング」を体験&amp;振り返り</li> <li>③地域での実践(ファシリテーションを活用)例紹 介</li> <li>④社会的処方でのファシリテーションの可能性を探 るワークショップ</li> </ol>	英国、患者の健康、well-being、医学的処方、 社会的処方(social prescribing)、リンクワーカー という役割、関係づくり、町づくり、医療、福 祉、文化、個人・団体とのネットワークづく り、人と人・コミュニティ・機関、社会的処方 とは何か?、社会的孤立、協力型のゲーム「コ ミュニティーコーピング」、地域での実践例紹介	地域や社会課題に対して、ファシリ テーションを活用したいと思われてい る方
2-H	防災ゲーム「クロスロ ード」を体験しよう! サブタイトルが可能な ら以下を付加 ～共感・共有の最強コ ミュニケーションツール を見逃すな～	西 修 (にし おさむ)	2002年「神戸まちづくりワークショップ研究会」 を結成。事例研究やプログラム開発、運営支援を 行っている。 2005年9月「神戸クロスロード研究会」設立に参 加、阪神・淡路大震災での自らの被災体験に加え て、ワークショップのノウハウを活用したプログ ラム開発を行う。阪神淡路大震災の体験を伝える クロスロードの普及活動に取り組んでいる。	防災ゲーム「クロスロード」を体験します。	能登半島地震、クロスロード、阪神・淡路大震 災、カードゲーム形式の防災教育教材、ジレン マ、環境・子育て・ケースワーク・ダイバーシ ティ、コミュニケーションツール、ファシリ テーションツール、深い対話	

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクションII (WSII) 対面開催 一覧表 つづき

日時：6月16日(日) 10:00-12:00

No.	テーマ	氏名 (ふりがな)	プロフィール (抜粋)	ワークショップの流れ：箇条書き	ワークショップの概要 (キーワード)	役に立つ場面 (こんな方にお勧め)
2-1 (2-3)	NPO活動従事者と、NPO活動におけるWellbeingとその先の受け手に届けるWellbeingを語ろう	2023年度理事会メンバー コンタクト：小林政文 (こばやし まさふみ)・河野恵 (このめぐみ)	2023年度理事会のメンバー	深い対話の場をつくり、今までの各活動の取り組みを含め、自分自身のWellbeingがどの様に影響を与えているのか？また、NPO活動におけるWellbeingを話す時間を共有する。短い時間ですが、深い対話の場を作って、心に残る、この先ずっと自分に問いかける"問い"を生み出したい。	NPO活動、社会課題解決、Wellbeing Mind、FAJ会員の活動、他NPO団体の活動、フラットな立場で深い対話	

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクションII (WSII) オンライン開催 一覧表

日時：6月16日(日) 10:00-12:00

No.	テーマ	氏名 (ふりがな)	プロフィール (抜粋)	ワークショップの流れ：箇条書き	ワークショップの概要 (キーワード)	役に立つ場面 (こんな方にお勧め)
2-1	issue+design流システム思考 課題の地図を描く技術 powered by Chat GPT <b>*本プログラムは、スタートが30分早い9時30分から(12時終了)となります。</b>	寛 裕介 (かいかい ゆうすけ) 澤田直子 (さわだ なおこ)	寛 裕介：issue+design代表。「SDGs de 地方創生」「SDGs de未来構想」他、デザイン思考を活用した各種ワークショップを開発。 澤田直子：i+dコミュニティデザイナー。千葉県手賀沼エリアのまちづくりや小学校相談業務などに従事	講義 システムとシステム思考とは → 演習1 あなたの課題を探求する → 演習2 AIとともに視点を拡張・深化する → 演習3 課題の地図を描く → 講義 システム思考のプロセス	学習する組織、システム思考、issue+design、持続可能な地域のつくり方 (寛裕介著)、イシューマップ (課題の地図)、包括的・俯瞰的な視点の拡張、独自開発したChatGPTによるサポートシステム	次のような問題意識を持つビジネス・行政・まちづくり、ソーシャルセクターの方 1. システム思考を学習・習得したい 2. より俯瞰的・包括的視点で課題を捉えたい 3. 複雑で入り組んだ課題を見える化・可視化・構造化したい
2-2	富山での3つの事例(集落、循環型農業、研究者/行政/住民の対話)をヒントに実践を考える、オンラインツールmiroを活用した参加型ワークショップ	鈴木 耕平 (すずき こうへい)	株式会社たがやす代表取締役。 北海道大学大学院環境科学院修了、食品メーカー技術職を経て現職。 富山に移住し「一人ひとりが輝く土壌をつくる」を軸に、企業/行政/研究機関での対話と見える化の技術を生かし、現場での対話から参加者の内発的な動機が生まれる場づくり、必要な意見の抽出と合意形成を図っている。	・オープニング (導入とチェックイン) ・ウェルビーイングを目指す3つの事例共有 * 40軒~400軒ほどの集落での地域運営組織づくり * 給食を起点に生産者と消費者を繋ぐ循環型農業への挑戦 * 科学者と行政と住民で流域から考える地域の暮らし ・対話の時間 ・クロージング (振り返りとチェックアウト) ※オンラインホワイトボードツールを使用するため、PCでの参加を推奨します。	ウェルビーイング社会、課題を解決する、富山県、3つの事例、身近な課題やできること、地域や社会の可能性、対話と知見の共有、実践につながるヒント	・場として：職場・教育現場・家庭での実践・機会として：人の実践事例を聞く、アイデアを交流し自分の実践に持ち帰る、自分のできることに気づく、やりたいことのヒントを得る・役割として：人を巻き込みたい、頑張っている人のサポートをしたい、自分のコミュニティで企画したい・スキルとして：オンラインホワイトボードmiroの活用・zoomでのコミュニケーション、グラフィックファシリテーション
2-3 (2-1)	NPO活動従事者と、NPO活動におけるWellbeingとその先の受け手に届けるWellbeingを語ろう	2023年度理事会メンバー コンタクト：小林政文 (こばやしまさふみ)・河野恵 (このめぐみ)	2023年度理事会のメンバー	深い対話の場をつくり、今までの各活動の取り組みを含め、自分自身のWellbeingがどの様に影響を与えているのか？また、NPO活動におけるWellbeingを話す時間を共有する。短い時間ですが、深い対話の場を作って、心に残る、この先ずっと自分に問いかける"問い"を生み出したい。	NPO活動、社会課題解決、Wellbeing Mind、FAJ会員の活動、他NPO団体の活動、フラットな立場で深い対話	